

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	854 文化財保護審議会事業					
予算科目	01-100503-11 文化財保護審議会に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係・活用係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	文化財保護法、つくば市文化財保護審議会条例				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民
目的	教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要な事項について調査し、教育委員会に建議する。
概要 (取組内容)	文化財保護行政全般について、広範な知識を持つ外部有識者と市民委員により、適切で公平に審議任期2年の委員10名による会議を年2、3回開催 必要に応じて各種文化財の現地調査を実施

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	228	228	228	252	252	
	決算額	(千円)	126	152	196	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	126	152	196	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,018	1,020	1,025	1,025	1,025	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	会議の傍聴、ホームページでの議事録の公開
企画・立案、計画	-
実行	市民委員の参加
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	審議会の開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	実績	0.0	2.0	3.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 審議会の開催回数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	指標として設定している年度内3回の会議を開催するため、審議事案となる「平沢官衙遺跡再整備基本計画・基本設計」の策定スケジュール等との調整を図り、開始時期を決定した。	
成果	文化財保存活用計画に基づき、前年度事業の実績及び成果を報告するとともに、現年度事業の予定及び進捗状況を説明し、専門的な立場からの意見を聴取することができた。また、「平沢官衙遺跡再整備基本計画・基本設計」の策定に当たっても、同様に意見を聴取することができた。	
課題	業務	特になし。
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	856 市管理文化財維持管理事業					
予算科目	01-100503-13 文化財維持管理に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	活用係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市文化財保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	文化財保護法、茨城県文化財保護条例、つくば市文化財保護条例			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、文化財所有者
目的	市内に所在する国・県・市指定や国登録その他の文化財、周知の遺跡等を次世代に良好な状態で継承する。
概要 (取組内容)	文化庁、茨城県、市文化財保護審議会、文化財保護指導員及びその他の専門家の指導を仰ぎながら、対象文化財を適切に維持・管理し、整備等を実施 市指定史跡保存のための民有地の賃貸借 史跡整備に関する団体に加盟し情報収集や意見交換

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	5,910	5,199	5,975	5,975	
	決算額	(千円)	4,758	5,171	4,525	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,742	5,132	4,486	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	16	39	39	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,936	2,941	2,807	2,807	2,807	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	90.00	90.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	管理文化財件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市が直接に草刈り・修繕等の維持管理をする文化財の件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市指定史跡日向廃寺跡の解説版1基を修繕した。	
成果	コロナ禍により市加盟協議会による研修会等のほとんどは中止もしくはオンライン開催となったが、市が所管する史跡の草刈り等の業務委託や市指定史跡日向廃寺跡解説板の修繕を通して、指定等文化財の維持管理が適切にできた。また、小田城跡内公有地をはじめとした草刈り等について、地元団体や住民による景観美化ができた。	
課題	業務	指定文化財の解説板が老朽化に伴い、文字が読めないものが増えている。
	組織、予算等	特になし
改善目標	引き続き指定文化財解説板の修繕を進める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	857 民有文化財補助事業					
予算科目	01-100503-13 文化財維持管理に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	活用係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画	つくば市文化財保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	文化財保護法、茨城県文化財保護条例、つくば市文化財保護条例			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、文化財所有者
目的	市内に所在する民有の国・県・市指定や国登録その他の文化財の継承に必要な経費を補助することで、当該文化財を保護する。
概要 (取組内容)	指定・登録文化財の管理・修理について、予算の範囲内で経費の一部を補助する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	1,271	1,042	792	725	
	決算額	(千円)	4,215	1,942	178	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,215	1,942	178	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,357	1,360	684	1,367	1,367	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.10	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	県指定文化財筑波山神社春日・日枝神社本殿及び両拝殿での火災報知器設置について、神社と施工業者との調整がつかず、年度内の実施を見送った。	
成果	国重要文化財大塚家住宅火災報知設備点検事業、同火災報知器修繕事業、市指定民俗文化財田倉三匹獅子保存事業の3事業に対して補助をすることで、適切な保存・維持管理・修繕等工事ができるような所有者への支援ができた。	
課題	業務	コロナ禍の影響により、市指定民俗文化財2件で予定していた補助事業が取りやめとなった。民俗文化財の断絶につながらないよう、コロナ禍終息後の支援が課題となる。また、筑波山神社建造物の火災報知設備設置が、未実施のまま課題として残った。
	組織、予算等	特になし
改善目標	筑波山神社建造物の火災報知設備設置について、継続的な調整をしていく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	859 市史編纂事業					
予算科目	01-100503-14 市史編纂に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市文化財保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	歴史資料を体系的・分類的に調査・整理・記録して郷土の歴史を正しく後世へ伝える。
概要 (取組内容)	保有史・資料の整理及び解読作業（江戸時代の近世文書を中心に行う。） 史・資料集の刊行整理・解読後の史・資料について、史・資料集を刊行 未発見史・資料の調査及び記録記録の写真、デジタルデータ化を行う。 市関連史・資料の入手（古書店等からの購入を含む。）

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	187	665	1,514	690	
	決算額	(千円)	943	119	665	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	850	-5	525	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	93	124	140	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,407	1,422	1,404	1,404	1,404	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	25.00	15.00	15.00	15.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	図書の刊行 (冊)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	整理・読解の終了した史・資料について刊行した冊数。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度に先送りとした市史史料集の刊行を実施することができた。	
成果	史料集の原稿を作成、刊行し、2年振りに市史史料集を刊行することができた。また、市史関連資料として、谷田部藩主の書状1点を購入するなど、市史関連史料の収集・保全を行うことができた。	
課題	業務	旧町村時代に調査・目録作成を行った史料のうち、現況が不明になっている事例が見受けられるが、史料集の刊行に業務量を注力せざるを得ないため、積極的な所在把握に至っていない。
	組織、予算等	将来的な通史編の刊行に向けての組織や予算、時期を検討していくことが課題である。
改善目標	史料の所在確認および調査・保存に努めるとともに、次の史料集の刊行を見据え、収録予定史料の調査を行う。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	860 小田城跡保存事業					
予算科目	01-100503-15 小田城跡に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係・活用係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	史跡小田城跡保存整備基本計画、つくば市文化財保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	文化財保護法			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、文化財所有者
目的	国指定史跡「小田城跡」を土地買収により保存し、歴史公園として活用できるよう復元整備する。
概要 (取組内容)	土地買収は、文化庁長官に現状変更を許可されない土地等で実施し、H19年度までに史跡南半の市街化調整区域約11haがほぼ終了、現在は北半の市街化区域で概ね毎年1筆を買収中 復元整備は、H21～27年度に、史跡（約22ha）中心の本丸跡を主とする遺構整備ゾーン（約4.2ha）で実施、合わせて展示機能を持つ案内所の建設を完了

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	28,463	6,301	8,122	27,316	
	決算額	(千円)	28,320	23,950	6,040	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,672	1,638	2	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	22,648	19,152	4,830	0	0
		その他	(千円)	0	3,160	1,208	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,092	1,119	1,062	1,062	1,062	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	40.00	15.00	15.00	15.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	土地買収面積(H29以降) (m ²)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2,126.0	1,430.1	340.0	778.0	0.0	0.0
	実績	2,135.8	1,425.8	335.5	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	史跡保全のための土地買収面積					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	史跡内335.49㎡の公有化及びそれに伴う測量や鑑定などを実施し、9月までに地権者交渉で合意した。教育委員会への報告を行い、10月に契約、登記を完了させた。自転車道や復元整備を実施した案内所付近の土地を購入できたことで、史跡小田城跡の保存を行うことができたとともに、今後の活用の用地となった。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	862 小田城跡確認調査事業					
予算科目	01-100503-15 小田城跡に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	史跡小田城跡保存整備基本計画、つくば市文化財保存活用計画			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	買収した土地等、「小田城跡」の地下状況を把握、確認する。
概要 (取組内容)	国指定史跡「小田城跡」の本丸周辺部(遺構保全ゾーン)、約71,000㎡のうち、4,500㎡を目安に平成9年度～令和3年度（現地調査はH30年度まで）で発掘調査及び整理調査を実施。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	4,036	4,016	1,024	1,024	
	決算額	(千円)	1,220	579	1,800	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	635	392	900	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	585	187	900	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,390	4,400	4,319	684	684	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.60	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	130.00	130.00	90.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	国庫補助金の減額査定を受けて延期してきた確認調査の現地・整理調査について、報告書を作成し、今年度で大部分の事業が終了となった。	
成果	平成26年度～30年度現地調査の詳細整理を実施し、調査成果をまとめた報告書を作成したほか、木製品2点の保存処理を行った。報告書を作成することで、保存・整備・活用の計画作成に必要な基礎資料を得ることができたほか、木製品の保存処理を実施することで、出土品の恒久的な保存が可能となった。	
課題	業務	国庫補助金の減額査定を受けて延期してきた出土品の保存処理業務は終了しておらず、継続していく必要がある。
	組織、予算等	国庫補助金の減額査定は令和4年度以降も続く可能性があり、予算や年次計画の調整が必要となる。
改善目標	出土品の保存処理業務を継続する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	終了
理由	確認調査の現地・整理調査が一段落し、国庫補助金の減額査定を受けて延期してきた出土品の保存処理業務のみが令和4年度以降継続するため。（保存処理業務については、事業コード860で継続）

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	863 文化財展示施設管理事業					
予算科目	01-100503-16 文化財展示施設管理に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	活用係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	つくば市文化財展示施設条例及び同条例施行規則				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、施設利用者
目的	市内の出土文化財、史料、民俗資料等や復元整備した史跡の保存と展示を行う、市文化財展示施設等の収蔵資料や施設の維持管理
概要 (取組内容)	収蔵資料の収集及び適切な管理 申請に応じた施設使用・資料利用への対応 施設の維持管理のための法定点検、植栽や設備の維持管理、機械警備、収蔵資料の燻蒸処理等を専門業者に委託して実施 ※桜歴史民俗資料館には、桜窓口センターが含まれる。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	54,556	62,115	61,132	55,486	55,486	
	決算額	(千円)	51,270	64,316	53,658	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	51,183	59,092	53,612	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	5,181	0	0	0
		その他	(千円)	87	43	46	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,211	5,563	4,295	4,295	4,295	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.75	0.80	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	50.00	80.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

指標名	収蔵資料利用件数 (件)						成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	45.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	実績	48.0	24.0	25.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 収蔵資料の閲覧・写真撮影複写・掲載及び貸出等の利用件数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	自主点検マニュアルによる施設の状況把握を継続した。	
成果	平沢官衙遺跡歴史ひろばの多目的トイレ改修や復元建物の屋根部材応急措置工事などをはじめ、施設を良好な状態に保った。また、コロナ禍において減少傾向とはなったが、収蔵資料の貸出等や施設の使用許可等の業務を行った。市内外の方々に市の歴史と文化への理解を深めてもらい、あわせて学術の発展に資することができた。	
課題	業務	再整備事業を計画している平沢官衙遺跡歴史ひろば以外の施設修繕計画について、詳細な検討にまで至らなかった。
	組織、予算等	特になし
改善目標	引き続き、市公共施設マネジメント及び『文化財保存活用計画』と連動させながら、施設修繕計画を検討していく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	864 金田官衙遺跡保存事業					
予算科目	01-100503-17 金田官衙遺跡に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	文化財保護法				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、事業者
目的	中根・金田台特定土地地区画整理事業内の歴史緑空間用地に含まれる国指定史跡「金田官衙遺跡」の土地を保存する。
概要 (取組内容)	H15年度に都市基盤整備公団、茨城県、つくば市の間で締結した「覚書」、及び同21年度にUR都市再生機構とつくば市の間で締結した覚書の内容を具体化する「協定」等により、史跡内の公有地除く約7.3haを、国庫補助を受けて同機構からH22～33年の12年計画で買収

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	193,096	185,746	426,095	11,945	0	
	決算額	(千円)	183,344	182,121	426,094	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,669	3,981	94	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	179,675	178,140	426,000	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,382	1,410	1,025	684	684	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.15	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	20.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	区画整理事業地内の累計土地買収面積 (ha)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	6.0	6.6	7.3	0.0	0.0	0.0
	実績	5.1	5.7	7.3	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 買収対象面積約7.3haに対する当該年度までの累計面積						

2	指標名	区画整理事業地外の累計土地買収面積 (ha)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
	指標の概要	指標 1 で挙げた区画整理事業地内での計画的買収の対象地を除く民有地の買収面積					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	先行取得償還という国庫補助制度の利用にあたって、文化庁、県文化課、UR、市財政課との連絡を綿密に行い、事務の遺漏を防いだ。	
成果	史跡指定地15,270.61㎡を12月にURから買収し、平成22年度からの区画整理地内の計画的な公有化が完了した。文化財を保全するとともに、TX沿線開発が良好な形で円滑に進行するという効果も図れた。	
課題	業務	来年度からの起債償還金を対象とした国庫補助事業導入について、遺漏がないように進めることが課題である。また、区画整理地外に個人所有の史跡指定地1筆が残っており、所有者から買収の申出を受けているため、早期に公有化していくことも課題である。
	組織、予算等	特になし
改善目標	個人所有の史跡指定地1筆645㎡を令和4年度に買収し、指定地の公有化を完了させる。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	縮小
理由	区画整理地事業内の計画的買収が完了し、今後の事業が区画整理地外の個人所有地1筆の買収と、起債償還金を対象とした国庫補助事業関係事務に縮小するため。

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	865 学校での伝統文化教育支援事業					
予算科目	01-100503-18 歴史文化教育・活用に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係・活用係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	文化財保護法、教育基本法				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	児童・生徒、教職員
目的	県内でも有数の内容を誇る市の歴史や文化財を、学校教育の中で市内の子供達に伝える。
概要 (取組内容)	出前講座・文化財施設見学説明 学校教諭対象の説明研修会の開催 つくば市の歴史や文化財を教育現場で活用しやすい形にまとめ、伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	209	209	209	209	209	
	決算額	(千円)	142	0	99	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	142	0	99	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,466	3,474	2,807	3,490	3,490	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.40	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	文化財保護審議会への市民委員参加

指標の推移

指標名	講座・説明回数 (回)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
実績	31.0	6.0	6.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(I - 2 - ③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 学校対象に行う出前講座や展示施設見学説明の回数					

2	指標名	研修会の開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	学校教諭対象の説明研修会の開催及び資料提供回数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	つくばスタイル科や歴史の授業で使用を想定した発掘調査の資料を作成した。また、「つくばちびっ子博士2021」で撮影した動画を公開した。	
成果	昨年度同様、コロナ禍の影響により展示施設説明および出前講座の回数は少なかったものの、出前講座での資料持ち込みや学校への貸出しなどに対応し、コロナ禍の影響で中止となった教職員研修の代わりに資料配布を行った。また、「つくばちびっ子博士2021」にて制作した4施設の動画を市公式YouTubeにて再度公開し、施設の概要や民具の使い方を紹介した動画を公開した。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	866 文化財催事講座等事業						
予算科目	01-100503-18 歴史文化教育・活用に要する経費				担当部課	教育局文化財課	
市長公約					係名	活用係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実		新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	文化財保護法、市教育振興計画				SDGs	04質の高い教育をみんなに	
						11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	県内でも有数の内容を誇る市の歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育むとともに、観光等へ活用することで市のプロモーションに寄与する。
概要 (取組内容)	市内展示施設を巡る巡回企画展を開催し、テーマに沿った講演会等を実施 古文書読解等の文化財講座の実施 平沢官衙遺跡歴史ひろば、小田城跡歴史ひろばにおける史跡活用催事の開催

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	5,535	4,177	3,914	3,913	3,984	
	決算額	(千円)	5,504	3,349	2,745	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,215	1,962	1,372	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	2,162	1,387	1,373	0	0
		その他	(千円)	127	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,510	8,652	8,688	8,566	8,566	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
		正職員時間外勤務	(時間)	150.00	200.00	200.00	150.00	150.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	企画展・講座・講演会等での周知
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

指標名	企画展開催に伴う講演会等の回数 (回)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
実績	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(I - 2 - ③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 企画展のテーマに沿った講演会や体験講座の開催回数					

2	指標名	桜歴史民俗資料館入館者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	7,850.0	7,880.0	8,000.0	8,040.0	8,080.0
	実績	0.0	1,705.0	2,568.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	平沢官衙遺跡歴史ひろば入館者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	46,610.0	47,000.0	47,850.0	48,770.0	49,685.0
	実績	0.0	35,722.0	38,024.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	小田城跡歴史ひろば入館者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	21,300.0	21,380.0	21,390.0	21,400.0	21,420.0
	実績	0.0	15,317.0	13,888.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	出土文化財管理センター及び谷田部郷土資料館の入館者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	4,740.0	4,740.0	4,760.0	4,790.0	4,815.0
	実績	0.0	569.0	891.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、史跡活用催事を開催することができた。また、講師の事情により終了した古文書講座の内容を見直し、市文化財専門員により再開することができた。	
成果	昨年度はコロナ禍の影響で中止となった史跡活用催事の一部及び古文書講座を、感染症対策や内容検討をした上で再開することができた。巡回企画展も開催でき、企画展約1,200人、講演会62人、体験学習12人（市内在住・在学の小中学生及び保護者）の来場者・参加者を得た。アンケートの満足度も高く、実施によって歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育成することができた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	981 各種文化財基本調査事業					
予算科目	01-100503-12 文化財調査に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係	
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	文化財保護法				SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民
目的	市内に所在する無指定を含む各種文化財の基本調査を行い、基礎データを収集し、今後の保存対策の立案・資料蓄積及び「まちづくり」の根幹となる地域独自の文化財の把握をする。
概要 (取組内容)	各種文化財について計画的・継続的に所在や概要を把握する基本調査である悉皆調査の実施 巡視等により文化財の現状を把握する現況確認調査の実施

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	620	620	513	518	518	
	決算額	(千円)	781	550	109	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	781	550	109	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,085	2,092	1,025	2,099	2,099	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.30	0.15	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	21.00	0.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	広報紙等での調査実施の周知、市民向け刊行物の作成
企画・立案、計画	対象文化財の市民等からの情報提供
実行	-
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	悉皆調査件数（R1まで）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	73.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 自然文化財調査の現地調査件数						

2	指標名	巡視による現況確認文化財件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
	実績	25.0	25.0	26.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	計画的な巡視で保存状況を確認した文化財の件数					
3	指標名	悉皆調査件数 (R 2 から) (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	実績	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I - 2 - ③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 各種文化財の悉皆調査件数					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	巨樹・古木調査については、令和4年度予定の市民向け刊行物作成の準備を進めた。研究学園都市建設等の新しい時代に関する資料調査について、文化財課が所有する資料の所在確認と収集を進めた。	
成果	悉皆調査では、過年度に調査した巨樹・古木の現況を確認し、市民向け刊行物への掲載樹木選定の基礎となった。国県指定文化財等については、8月と1月の2回、県文化財保護指導員とともに巡視をし、現状の把握ができた。また、個人が所有する江戸時代の谷田部藩主書状について、専門家による意見を得た。	
課題	業務	平成30年度策定の市文化財保存活用計画で中期的な目標とした、研究学園都市建設等の新しい時代に関する資料調査について、本格着手へ向けた検討をする必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標	研究学園都市建設等の新しい時代に関する資料調査について、令和5年度からの本格着手を目標に、対象や調査方法を決めて事業化する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	982 埋蔵文化財調査・保存事業					
予算科目	01-100503-12 文化財調査に要する経費			担当部課	教育局文化財課	
市長公約				係名	保存係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市文化財保存活用計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	文化財保護法			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、事業者
目的	市内に所在する埋蔵文化財について、文化財保護法等で定められた調査・調整等の手続きを行い、保存措置を講じる。また、重要遺跡の調査・保存や出土品等の保管・活用を行う。
概要 (取組内容)	各種開発等に伴う埋蔵文化財取扱事務、各種開発等に伴う試掘・確認調査 非営利目的での本発掘調査等、民間調査機関による記録保存調査の調整 重要な遺跡の保存・活用を検討するための内容確認調査

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	8,981	32,798	12,708	12,883	
	決算額	(千円)	7,484	10,398	20,048	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,258	6,286	5,184	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	3,226	4,112	14,864	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	11,037	11,306	15,576	15,004	15,004	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.50	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	350.00	450.00	785.00	550.00	550.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ等での埋蔵文化財関係手続きの周知、発掘調査報告書の刊行
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	デジタル地図情報等の活用を促進することで、現地確認の時間を減らし、業務効率化を図った。	
成果	埋蔵文化財の有無照会（文書262件、窓口等2,632か所）に対応し、手続き等を適切に行った。また各種開発に伴う試掘・確認調査44件や、土地改良事業に伴う上郷陣屋跡等の本発掘調査6件を実施し、開発と保存の調整をした。そのほか民間調査組織による本発掘調査の調整・協議・監督をした。調査等で得た出土品や記録は市の貴重な財産になった。なお令和3年度は重要遺跡保存・活用のための調査はしていない。	
課題	業務	耕作放棄地や荒れた山林を利活用するための開発、再生可能エネルギー発電設備開発が増加し、年々業務が増えている。地域活性化を含めた持続可能な社会構築のための開発と、資産である文化財の保存をいかに両立させていくかが課題である。
	組織、予算等	業務量の増加により、発掘調査の現地調査ができる専門員の増員が至急に必要である。
改善目標	遺跡台帳などの整備を継続し、資料検索のための時間を短縮して、一層の効率化を図る。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	983 文化財サポーター事業					
予算科目	01-100503-18 歴史文化教育・活用に要する経費				担当部課	教育局文化財課
市長公約					係名	活用係
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民
目的	市民が歴史や文化財に触れる機会、市の文化財行政を知る機会を作る。
概要 (取組内容)	解説ボランティア育成を目的とした講座・研修の開催 講座修了者からボランティア登録者を募り、展示施設や文化財の解説のほか、学校支援業務への協力、文化財の見回り、イベント時の補助、展示作成時の補助などを実施

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	25	294	244	237	300	
	決算額	(千円)	17	145	122	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	17	145	122	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,496	5,539	3,417	3,417	3,417	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	0.80	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	28.00	40.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ等でのボランティア制度の周知
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	解説ボランティア登録者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0
	実績	10.0	15.0	23.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 文化財解説ボランティアとして登録している人数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	谷田部郷土資料館での学校への解説前に、登録者を対象とした実地の講座を実施した。	
成果	10月～12月に谷田部・桜地区の解説を目標とした第3回解説ボランティア養成講座を開催、修了者8名のうち新規登録者8名で、計23名となった。また、年間を通じて、民間のボランティア団体「常陸小田城親衛隊の会」と連携し、小田城跡での解説や会員への研修等を実施。市の事業に市民が参加し、文化財への理解と愛着を深める機会とすることができた。	
課題	業務	登録者の意識が低下しないよう、参加の機会を増やすとともに登録者の知見の向上を目指す研修も必要となる。
	組織、予算等	特になし
改善目標	引続き解説ボランティア養成講座を定期的開催し、登録者向けのステップアップ研修も実施する。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	047 平沢官衙遺跡再整備事業						
予算科目	01-100503-16 文化財展示施設管理に要する経費			担当部課	教育局文化財課		
市長公約				係名	活用係		
戦略プラン	I-2	3	5	文化財の保存と活用の充実		新規・継続	新規
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画	つくば市文化財保存活用計画				事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	文化財保護法				SDGs	04質の高い教育をみんなに	
						11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、施設利用者
目的	立体復元した高床倉庫の屋根を始めとして、舗装などの劣化が進み再整備が必要となっている。そのため、復元整備基本計画、復元整備基本設計を策定し、補助事業として復元の再整備工事を実施する。
概要 (取組内容)	現況を精査し、令和3年度に基本計画・基本設計を策定する。 令和4年度に実施設計を行い、令和4～8年度で再整備工事を行う。

コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	7,137	15,367	52,357	
	決算額	(千円)	0	0	6,004	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	3,009	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	2,995	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	2,990	4,368	4,368	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.40	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	105.00	110.00	110.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ・展示施設でのアンケート調査
企画・立案、計画	市ホームページ・展示施設でのアンケート調査
実行	-
評価、検証	文化財保護審議会での市民委員参加

指標の推移

1	指標名	設計・工事の進捗率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	5.0	10.0	35.0	55.0
	実績	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-2-③文化芸術の推進及び文化財の保存と活用) 設計・工事の進捗率					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	史跡平沢官衙遺跡再整備懇話会を年4回（8、10、12、2月）開催し、その助言と指導を受けながら、史跡平沢官衙遺跡再整備基本計画・基本設計を作成した。今までの史跡平沢官衙遺跡の状況を整理して、今後の再整備計画の概要を示すとともに、予算の概要を含めた事業計画をまとめ、今後の再整備工事への道筋をつけた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	令和4年度の実施設計作成、令和5年度以降の再整備工事着手と、事業が本格化していくため。